

# 農業委員会だより

発行 いわき市農業委員会

## No.170

〒970-8026  
いわき市平字堂根町4-8  
TEL.0246(22)7534  
FAX.0246(22)7538



平成27年度いわき市農林業賞表彰式と  
6次産業化に向けた講演会



### 記事のご紹介

#### 2ページ

- 平成27年度  
いわき市農林業賞受賞者決定  
・いわき市農業協同組合ねぎ部会  
・白石長利氏  
・萩 春朋氏

#### 3ページ

- 「命の水」を運ぶ小川江筋
- がんばる農業者 あの人この人  
・中村彰宏さん  
(渡辺町中釜戸地区)

#### 4ページ

- 平成28年農作業労働賃金  
標準額

#### 5ページ

- 農地流動化情報
- 農業者年金

#### 6ページ

- 地区だより(東部地区)
- トピックス  
手漉(す)き和紙で卒業証書



頑張る農業者あの人この人  
(原木椎茸の栽培)

# 平成27年度いわき市農林業賞受賞者決定

## 団体の部

**いわき市農業協同組合ねぎ部会**  
(平成5年9月設立) 本部所在地:四倉町狐塚



受賞

いわき市の農林業の発展等に顕著な実績をあげられた農林業者等を表彰する「いわき市農林業賞」の平成27年度受賞式と「いわき農林業ミーティング2016」が開催されました。

当日は受賞者の表彰のほか、とまとランドいわき専務取締役元木寛氏による講演、6次化商品の試食会が実施されました。



とき 平成28年1月21日(木)  
ところ カルチェド シャン・ブリアン

### 当日の主な試食品紹介

まこもそうめん、しいたけうどん、まこも入り肉まん、白さつまいものキッシュ、ねぎのキッシュ、サンシャイントマト、ミニトマト、オリーブ茶、親バカとまとジュース、いわきチップス、いちご割れチョコ、いわき梨セミドライグラッセ、どらいちご、スムージーHyaccoi、焼きねぎドレッシング、紫いものミルクジャム、あぶくまX豚の生ハム

### 受賞理由

部会員全員が良質堆肥・緑肥作物を導入し、エコファーマー認証を取得するなど環境にやさしい農業に率先して取り組んでいるほか、地元量販店での消費宣伝活動で、地産地消の普及拡大等を行い、「いわきねぎ」の地産地消・ブランド化にも大きく貢献しており、平成26年度には6次化商品として、いわきねぎを使用したねぎドレッシング、ねぎダレを商品化し販売している。  
いわきねぎは、市内はもとより、東北から関東まで消費地へ安定供給している。

## 貢献の部

**Hagiフランス料理店 萩 春朋氏 (40歳)**  
はぎはるとも 内郷御台境町



受賞

### 受賞理由

地元野菜を使ったフランス料理にこだわり、自ら農家をめぐると素材集めから生産者と関わり、素材と生産者のアピールに努め、いわき産食材の風評払拭に取り組んでいる。  
一般社団法人「いわき6次化協議会」の専務理事、「いわき夢ワインを育てる会」の会長として活躍する一方、料理人ながらも「いわき農業青年クラブ連絡協議会」への参加や畜産農家との交流など、「食」を通して市内の農業者・料理人・飲食店等と連携し、いわき産の肉・野菜を合わせて提供できるネットワークづくりに取り組むなど、「いわきの食」に関わる人々の中心的役割を果たしている。

## 青年の部

**白石 長利氏 (34歳)**  
しらいし ながとし 小川町下小川



受賞

### 受賞理由

小川町の専業農家の八代目。「いわき産農林水産物風評被害対策事業 いわき見える化プロジェクト 見せます!いわき」に積極的に協力。地元料理人と協同で農産品加工品開発に取り組み、料理人や飲食業者、製造業者等の異業種と農業者とのネットワークを形成。  
これらの活動を土台に設立された一般社団法人「いわき6次化協議会」の会長として「いわき食Labo」プロジェクトを展開し、本市産の食の復興とブランド化を目指しており、本市若手農業者の筆頭として一次産業をけん引している。

# 「命の水」を運ぶ小川江筋

一月、久しぶりに小川町関場を訪ね、国道399号線三島橋に立つ。

寒風の中、ホー、ホーと白鳥が鳴きながら水面に佇み、西方の山並みには二ツ箭山の岩峰が頭を出していた。

ここから夏井川は流心を「くの字」に曲げ、階段状に組まれた7段のコンクリートが落差約2mの滝となり、ゴーゴーと白い飛沫をあげながら右側に蛇行し、右岸は洪水対策として竹林が数km続く。

この左岸に作られた大堰から「小川江筋」はしばらく夏井川と並行して流れ、平窪く神谷く大浦と山裾を通り、四倉の仁井田川に合流する。

今から約380年前、弱冠20代の沢村勘兵衛は藩命を受け、夏井川(関場)から仁井田川(四倉)に至る約30kmの用水路「小川江筋」の開削工事に着手し、32年の歳月をかけて完成させ、数百haの田を早魃(かんばつ)から救った。

明治以降は、耕地整理に伴い中小河川を巻き込む広大で緑豊かな田園地帯を形成し、戦前は米搗き用の水車の動力として、近年は市の上水道としても利用されている。

「小川江筋」は、沢村勘兵衛の死後も貴重な江戸時代の遺産として、また日々の生活を支える大切な用水として地元住民から愛され、大堰には「命の水」の大切さを訴える小学生の標語が掲げられている。

毎年四月の第1日曜日は、改良区の掛け声のもと小川江筋の清掃が行われ、下旬の通水を待つことになる。

今年も田植えが始まるかと「こぶし」に力が入る。

(執筆 愛川卓司委員)

# がんばる農業者 あの人この人



なかむらあきひろ 渡辺町中釜戸 中村 彰宏さん(30)

榎木約二千本分の椎茸を収穫するそうです。

植菌してから収穫まで約半年かかり、栽培期間中は適切な温度・湿度の管理、また榎木の移動などたくさん時間と労力を要します。中村さんは、沢山の手間暇をかけてじっくりと育てることで、椎茸が本来持つ「香り」や「歯ごたえ」を十分に楽しめる高品質で肉厚なおいしい椎茸を生産出来ると話してくれました。

また、原木椎茸の和風ピクルス等の加工品を、以前はお客様が、就農後は中村さんも一緒に市内の直売所に卸しており、お客様に好評のようです。様々なかたちで椎茸を消費者のもとに届けている中村さん、今後は原木椎茸のさらなる高品質化、経営の安定化と規模拡大をはかりたくさんの人に原木椎茸を認知してもらうとともに、小さい子どもたちにも美味しく食べてもらえる椎茸を生産し、「子どもの椎茸嫌いを無くしていきたい」と意欲的に語る姿から、今後増々のご活躍を期待するところです。

今回ご紹介するのは、いわき市渡辺町中釜戸で原木椎茸を栽培されている中村彰宏さんです。

中村さんのお宅では、祖父の代から原木椎茸の栽培を約50年続けられており、子どもの頃から家族が働く姿を見て育ち、いずれ自分も原木椎茸の栽培を行いたいと考えていたところ、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故が発生し、当時大学院に在籍していた中村さんは、実家の苦境やふるさとの風評を自らどうにかしたいとの思いから、平成26年に実家に就農されました。

自宅近くの4棟のハウス施設には、約90cmの長さに切り揃えられた「榎木(ほだぎ)」と呼ばれる椎茸栽培用の原木が千本整然と棚に並べられ、そこから発生する椎茸を収穫し、収穫が終わった榎木は入れ替え、秋から初夏にかけて合計で



(執筆・撮影 小泉昌男 副委員長)

# 平成28年農作業労働賃金 標準額が決定しました



## 【請負労働作業】

(整理田10aあたり・単位 円)

作業名		標準額	摘要	
水田	育苗	670	一箱あたり 個人育苗硬化まで	
	耕起	5,800	ロータリー耕	
		7,000	プラウ耕	
	畔ぬり	50	1メートルあたり	
	ブロードキャスターによる施肥	500	1回あたり	
	代かき	6,700		
	田植	6,500	側条施肥の場合、500円増し。 薬剤等の場合、500円増し。	
	防除	900	薬剤費別	
	バインダー	7,500	ひも込み	
	脱穀	7,500	ハーベスター	
	コンバイン	28,000	ワラ結束の場合2,000円増し	
	作業	刈り取り	17,000	倒伏の場合は、 話し合いによる
		乾燥	8,000	
運搬		3,000		
もみ摺		300	30キログラムあたり 運搬を除く	
くず米		100	30キログラムあたり 計量と持ち帰りが条件。 放棄する場合は該当しない。	
	色彩選別機	300	30キログラムあたり 専用持ち込みの場合。 もみ摺同時の場合100円増し。	
畑作業	耕起	5,600	ロータリー耕	
果樹園作業	薬剤散布	2,500	スピードスプレーヤ 薬剤費別	

※請負額には、別途消費税が加算されます。

## 【雇用労働作業】

(1人1日あたり・単位 円)

作業名		標準額	摘要
水田作業	手作業	7,000	
	機械作業 (機械持参)	10,000	草刈りなど
畑作業		6,500	
果樹園作業	整枝剪定	10,000	
	果樹一般作業	7,000	
山林作業	手作業	9,000	下刈りなど
	機械作業 (機械持参)	12,000	下刈りなど

### 【備考】

この標準額表は、本市の農林業における一般的な作業について、その標準的な金額を定めたものです。

受委託にあたり、当事者間で委託料を協議するための目安としてご利用ください。

特に、次のような場合には、当事者間で十分協議のうえ調整してください。

1. 労働能力(性別・年齢・経験など)、山間部と平坦部、乾田・湿田など農作業に地域差等がある場合
2. 整理田を基準としていますので、未整理田、土壌条件、農道の状況などの差異がある場合
3. この表に記載のない作業を受委託する場合

雇用労働作業時間は、1人1日8時間(実働)を基準としています。

1、1時間あたりの福島県最低賃金(平成27年10月3日改定)は、705円です。

2、賄い費(食事代)は、含みません。

# 農地流動化情報

Vol.29

農業委員会では、耕作を目的とする農地情報の収集・提供を行っています。売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談下さい。

## ■売りたい

No.	農地の所在地	地目	面積(a)
1	平中平窪字扇田(4筆)	田	25.08
2	平中平窪字古堤(2筆)	田	5.96
3	平中平窪字古堤(4筆)	畑	23.01
4	平中平窪字古館前(4筆)	田	52.67
5	平中平窪字古館前(1筆)	畑	2.50
6	好間町今新田字ネバリ坪(1筆)	田	9.91
7	好間町今新田字稻荷坪(1筆)	田	9.91

ご覧になって、手続き等の詳細を知りたいという方は農業委員会事務局までお問い合わせください。

※今回掲載した農地以外にも売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談ください。

## ■貸したい

No.	農地の所在地	地目	面積(a)
1	平上高久字高田(1筆)	田	9.81
2	平上高久字徳万坊(1筆)	田	9.91
3	平上高久字奥町(4筆)	田	29.04
4	平上高久字奥町(1筆)	田	9.91
5	平下高久字滝前(1筆)	田	8.42
6	平下高久字古川(1筆)	田	12.59
7	遠野町滝字銅谷(2筆)	田	24.76
8	遠野町滝字上砂(2筆)	田	37.86
9	久之浜町久之浜字大場(1筆)	畑	1.99
10	大久町大久字米野(1筆)	田	10.09
11	大久町大久字脇(2筆)	田	11.99
12	大久町大久字北田(2筆)	畑	13.61

### 【お問い合わせ】

農業委員会事務局 農地調整係

**0246(22)7578**



## 農業者年金

「農業者年金受給権者現況届」の提出は6月末日までです！

毎年5月下旬、農業者年金を受けている方あてに、農業者年金基金から「現況届」が郵送されます。

提出期限は6月末日となっておりますので、必ず提出してください。

提出し忘れると、年金の入金が差し止められますので、ご注意ください。

「農業者年金への加入」を考えてみませんか？

農業者年金は、厚生年金と違い2階建て部分がない国民年金に上乘せするための公的年金です。

次の3つの要件を満たす農業者が加入できます。

### 《加入要件》

◎年間60日以上農業に従事

◎20歳以上60歳未満の方

◎国民年金第1号被保険者  
(保険料免除者を除く)

農業者年金の保険料は、2万円から6万7千円の範囲で千円単位の月額保険料を設定でき、全額社会保険料控除の対象となります。

平成14年1月からの新制度は、希望して加入する制度で、任意脱退が可能です。

納めた保険料は、加入期間に関わらず年金として支給されるため、脱退一時金の支給はありません。

加入期間が短くても月々の保険料を多くすることが可能であれば、将来の支給額を増やすことができ、豊かな老後に備えることができるのではないのでしょうか。

### 【お問い合わせ】

農業委員会事務局 農政振興係  
(☎22-7534)

## 農地の納税猶予を受けたい方へ

引き続き農業経営を行うことを条件に、贈与税や相続税の納税猶予の適用を受けている農地は、農業経営の廃止や農地以外への転用、耕作の放棄などにより、一部例外を除いて納税猶予が打ち切られ、面積に応じ、税額の全部または一部に利子税を付して納付が必要となります。

農地の納税猶予制度は、農地の相続等による農業経営の細分化を防止するとともに、農業後継者を支援し、農業経営の継続を図るために設けられた税制上の特例措置です。制度を利用されている方は、引き続き農地の適正な活用をお願いいたします。

# トピックス

## 手漉(す)き和紙で卒業証書



楮はぎ→釜でむし皮をはぎ取る

副業として農閑期に生産されていた和紙、遠野地区では昭和43年に12戸の漉屋(すきや)がりましたが、寒中水仕事を中心とする労働は敬遠され、また需要が減少するなど経済的にも恵まれず、次第に減少してきました。

このような状況のなか、平成17年に遠野町地域づくり振興協議会から磐城手業(てわざ)の会(事務局:菅野利夫)が発足し、現在、地域おこし協力隊2名、ボランティア13名が先人の指導を受けながら伝統産業を継承する活動をしています。

春から初冬にかけて、原料である楮(コウゾ)と糊料(繊維のつなぎ)であるトコロ菜を栽培・収穫し、多量の火力を要するため、大量の薪も収集します。製品になるまでは10数工程あり、3月末まで作業は続きます。



始めたばかりの頃はとにかく苦勞と失敗の連続で、今でも未熟なところはあり、必要な知識と技術を一日も早く自分達のものにするため、今後毎日精進していきたいとお話でした。

寒中漉き上げた和紙は丈夫で光沢があり好評で、卒業証書を地元の和紙で作って欲しいとの要望もあり、平成22年度から遠野町内5校(小・中各2、高1)に同会の和紙が提供されています。



提供:上遠野小学校

平成27年度も合計130名の卒業生が、思い出と地元伝統産業で作られた卒業証書を胸に、通い慣れた学び舎を後にしました。

(執筆・撮影 瀬谷弘委員)

## 農家のための情報誌

全国農業新聞の購読をあなたも

発行... 毎週金曜日(月4回)  
購読料... 月700円  
申込先... お近くの農業委員  
または農業委員会事務局  
電話... (22) 7534

### 編集委員

佐藤哲男 委員長・小泉昌男 副委員長  
渡邊雄八・瀬谷弘・愛川卓司

当地区は、東に太平洋、北に夏井川、西に飯野地区、南に高久地区の稜線に区切られた地域で、稲作を中軸に、ビニールハウスの苺、いちじく、冬ネギなどの生産地であります。



# 農業再生への着実な歩み

今号は、夏井地区における基盤整備事業の概要と進捗状況についてご紹介します。

5年前の3月11日に発生しました東日本大震災と県道近くまで押し寄せた津波により、用排水路や農道の崩壊、畦畔や農地の地盤沈下、更には汚泥や塩分を含む海水の浸水など、農業生産基盤への被害は甚大であり、その復旧が急務とされてきたところで、農地の基盤整備は震災以前から要望があり、愛谷堰土地改良区を中心に夏井地区全体において協議が進められてきたところでしたが、震災からの復旧が最優先事項となり、被災地区に集中した基盤整備事業の計画が加速し、土地改良区に加え、「下大越・藤間ほ場整備組合」、「下高久谷地ほ場整備組合」が新たに設立され、災害復旧事業(Ⅱ復興基盤総合整備事業)により取り組むこととなりました。

事業期間は、平成25~31年度の7年間の予定ですが、地区によっては施工業者の決定までに時間を要し、着工になかなか入られません。工事の進捗とともに、平成27年度には約10haの水稲が作付けされ、28年度には更に約20haの作付けが可能となる見込みです。



平成大越地区の面的工事は(執筆・撮影 渡邊 雄八委員)

### 【事業計画概要】

対象地区	平下大越・藤間・下高久	
対象面積	158.5ha	
事業費	29億5千万円	
事業効果	【実施前】	【実施後】
・担い手集積(集積率)	21.3ha (約13%)	55.4ha (約35%)
・ほ場規模	10a	50a (5割以上)
・認定農業者	11名	15名

## 編集後記

お正月の松送りが過ぎても温かい日が続く1月中旬、三和町下三坂の「福寿草の里」では、冬晴れのもと例年より二週間も早く福寿草が開花し、訪れる人たちの目を楽しませていきます。

地域の人たちは稲作準備の季節を間近に迎えるなか、暖冬の影響を気にかけ、「水不足になんねつかいいない」が福寿草を眺めての挨拶代りになっているところ。とき同じく、今年の市農林業賞の授賞式が行われ、今年から「青年の部」と「貢献の部」が新設されたことから、青年農業者や農業に貢献された他産業の方々の活躍に今後増々期待するところです。

(執筆 佐藤哲男 委員)